

＜静岡県 子どもが文化と出会う機会創出事業＞

親子、ときどき同級生。

「すばっくおやこ小学校」6月より開校

今年度は長泉町で初開催、より地域に密着した授業内容に

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、小学生とその保護者を対象としたアートプロジェクト「すばっくおやこ小学校」を、静岡市・長泉町・浜松市の3地域で実施いたします。「おやこ小学校」は、コミュニケーションデザイナーのYORIKO氏が立ち上げた小学生とその親がく同級生となり一緒に学び合うアートプロジェクトで、一昨年に「すばっくおやこ小学校」がスタート、今年3年目の開催となります。

今年度、静岡会場では地元企業である静岡鉄道株式会社と初めてコラボレーション授業を実施。静鉄沿線を中心にイベントやプロジェクトを実施する「しずてつ未来プロジェクト」に関わる社員が講師となり、未来の街を想像しながら[生活+社会]の授業を行います。

7月には、東部・長泉町文化センター ベルフォーレ、西部・浜松市鴨江アートセンターで初開催。各連携館から地域で活動する方や会館とゆかりのあるアーティストを推薦いただき、新たな地域密着の「おやこ小学校」の授業を企画しています。また、昨年度まではYORIKO氏が務めていた、参加者と授業の講師をつなぐファシリテーターの役割を担うく担任の先生くを、今年度からは3会場いずれも静岡県出身のSPAC俳優、春日井一平と鈴木真理子が務めます。

応募情報のお取り上げや、授業のご取材をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

実施日程・科目および講師

各会場とも午前[10-12]・午後[14-16]

参加料：1,000円／1科目、1組あたり

対象：小学1～6年生とその保護者（親族であれば親以外も可）

参加人数：各クラス親子9組

＜in静岡＞／募集中＝4月25日(木)～5月6日(月祝)

6月8日(土)・9日(日) 1時間目【国語+体育】：山崎 皓司 (SPAC俳優)

6月15日(土)・16日(日) 2時間目【生活+社会】：大橋 美咲 (静岡鉄道(株)不動産ソリューション事業部)

6月22日(土)・23日(日) 3時間目【音楽】： 棚川 寛子 (舞台音楽家)

会場：1・2時間目＝静岡芸術劇場 2Fホワイエ、3時間目＝静岡県舞台芸術公園 稽古場棟1

2時間目【生活+社会】 授業協力：静岡鉄道株式会社
しずてつ未来プロジェクト

「みんなでつくる日常が特別な街」を実現するために、静岡がもっと魅力的になるプロジェクトやイベントを静鉄沿線を中心に実施中。

<https://project11.shizutetsu.net/>



▲昨年の様子／静岡芸術劇場

＜in長泉＞／申し込み受付期間＝5月17日(金)～5月26日(日)

7月6日(土) 1時間目【体育+国語】：館野 百代 (SPAC俳優)

7月7日(日) 2時間目【体育+国語】：三島 景太 (SPAC俳優)

7月13日(土) 3時間目【図工】： YORIKO (「おやこ小学校」ランドデザイン、株式会社ニューモア代表)

7月14日(日) 4時間目【算数】： 樋口 かおる (駄菓子カフェせせらぎ代表、グラフィックデザイナー、編集者)

会場：長泉町文化センター ベルフォーレ

(1・2時間目＝リハーサル室／3・4時間目＝イベントホール)

共催：長泉町文化センター 後援：長泉町教育委員会

＜in浜松＞／申し込み受付期間＝6月2日(日)～6月11日(火)

7月20日(土)午後のみ・21日(日) 1時間目【音楽】：棚川 寛子 (舞台音楽家)

7月27日(土)午後のみ・28日(日) 2時間目【図工】：乾 久子 (美術家、藤枝市出身)

会場：浜松市鴨江アートセンター 301教室

共催：浜松市鴨江アートセンター 後援：浜松市教育委員会



▲昨年の様子／沼津【国語+体育】

おやこ小学校とは・・・

小学生とその親が＜同級生＞となり一緒に学び合うアートプロジェクト。コミュニケーションデザイナーのYORIKO氏が2016年に香川県高松市で立ち上げ、2019-2021年には東京都豊島区でも実施。2022年より静岡版として「すぱっくおやこ小学校」をスタートしました。SPACでは、人材育成事業や教育現場へのアウトリーチ事業のノウハウを活かしながら、小学生及び子育て世代が芸術文化に触れる機会を広げることを目的に、演劇的な要素を持つ体験型のプロジェクトとして実施しています。



●親子間のコミュニケーションを育む

おやこ小学校で大切にしているのは、親子での対話。日常の＜子＞と＜親＞が同級生となり、「いつもと違う役割になる」ことで、お互いについて新しい発見をし、理解を深める時間を創ります。そこには、コミュニケーションや多様性を育む演劇の力も生かされます。

●地域人材、文化施設とのコラボレーション

地域の駄菓子屋さんやSPACの俳優など、その専門家の方を講師に招き、国語、算数、社会・・・など、学校の教科に当てはめ、親子と一緒に考えたり、手を動かしたりする授業を行います。地域や劇団の人材を活かした授業となっています。

●教員を目指す学生との連携

各授業には、地域の大学生に「エプロン隊」(お助け隊)として参加者のフォローをお願いしています。教育学部に所属し、将来の教育現場を担っていく学生たちの力も借りて、「おやこ小学校」を運営しています。

「すぱっくおやこ小学校」担任の先生を務めるSPAC俳優

春日井一平(かすがい いっぺい)

島田市出身。高校在学時に演劇部に入部。大学在学中に劇団上田を旗揚げし、以後解散までの全ての公演に参加。2012年よりSPACに参加。主な出演作は『伊豆の踊子』『マハーバーラタ』『寿歌』など。



鈴木真理子(すずき まりこ)

磐田市出身。昭和音楽大学ミュージカルコースを卒業後、2012年よりSPACに参加。主な出演作品に『マハーバーラタ』『夜叉ヶ池』『グリム童話～少女と悪魔と風車小屋～』など。音楽大学出身を生かし、演奏や歌の主要パートを演じることも多い。



「すぱっくおやこ小学校」これまでの実績

参加人数

22年度：[静岡・4週末]36組78名 [浜松・2週末(土)のみ]28組52名 [沼津・2週末]35組76名 計99組206名
23年度：[静岡・3週末]36組75名 [浜松・2週末] 36組80名 [沼津・2週末]33組76名 計105組231名

参加者の声／23年度

- ◎毎回様々なテーマ、切り口で、楽しく学ばせてくれ、平日も次回を楽しみに待っていました。先生たちとまわりのエプロン隊の皆様、雰囲気良かったことが一番です。
- ◎学校に行きたがらなかった娘が参加することによって、おやこ小学校の学びと紐づけて学ぶ事、表現することの喜びにつながり、「学校で発見したのと、おやこ小学校と同じ事あったよー！」と楽しそうに学校に行くことができるようになりました。人や友達は、怖くないと知ることもできたこと、また、私自身が叱ってしまう前に「役者(ママという役)」なんだと一歩引くこともできました。

公益財団法人静岡県舞台芸術センター

(Shizuoka Performing Arts Center: SPAC)

静岡県が設立した公立劇団として、静岡芸術劇場と静岡県舞台芸術公園を拠点に1997年より活動を開始しました。2007年、宮城聰が芸術総監督に就任し、国内外で舞台作品の創造上演するほかにも、教育機関としての公立劇場のあり方を重視し、乳幼児からシニアまで全世代に向けて事業を広げています。



主催：静岡県

運営：SPAC-静岡県舞台芸術センター

協力：株式会社ニューモア

お問い合わせ：SPAC-静岡県舞台芸術センター

TEL: 054-203-5730 (静岡芸術劇場)

E-MAIL: oyako@spac.or.jp

事業担当：西村藍・坂中季樹・坂本彩子